

令和7年度 第1回 三重県社会教育委員の会議 概要

1. 開催日時 令和7年6月25日(水) 9時30分～11時30分
2. 場所 三重県庁講堂棟 131会議室
3. 出席者 社会教育委員6名(奥村隆志委員、鈴木智恵子委員、杉谷哲也委員、畑和伸委員、園部友里恵委員、池山敦委員(座長))
事務局6名(坂井次長、松本課長、酒井班長、中須係長、早川主幹兼社会教育主事、森主任)
4. 傍聴者 0名 (公開で実施)

5. 内容

(1) 審議事項

令和7年度社会教育関係者ネットワーク実践研究交流会について

(2) 報告事項

- ・令和7年度 of 社会教育関係の取組内容
- ・社会教育推進体制整備事業
- ・学びを通じた地域課題解決推進事業
- ・三重県社会教育委員連絡協議会

(3) 意見交換

- ・次年度に向けて(令和8・9年度のテーマ)

6. 概要

(1) 審議事項

事務局から令和7年度社会教育関係者ネットワーク実践研究交流会(以下「交流会」という。)について説明しました。

○今回も学生を募集しているが、テーマが「小中学校と地域との関わり」であるため学生の発表は設けていない。しかし担い手育成のため、学生の参加を増やす工夫が必要である。【杉谷委員、池山委員】

(2) 報告事項

事務局から報告事項をそれぞれ報告しました。

(3) 意見交換

県内の社会教育の現状や社会教育委員各々の考えについて、特に議題を設けず、令和8・9年度のテーマに向けて意見交換を行いました。

学生参加について

○学生参加については、学生自身がどのような役割を求められているのか、どのようなメリットがあるのか、具体的にわかるよう工夫が必要である。【池山委員】

- 例えば「大人の集い」の実行委員の募集では、自分たちで築き上げられる点が好評なため申込が多数ある。この例を参考にして工夫すれば、参加が増えるのではないか。【杉谷委員、園部委員】
- 交流会の開催などを周知する際、正式な開催要項とは別に、視覚効果を盛り込んだ学生向けチラシを作成すれば、効果を上げられるかもしれない。【鈴木委員】
- チラシ作成の際、言葉はとても大切で、言葉一つで参加人数は変わってくる。【奥村委員】
- 他の地域の若者同士が触れ合うことや関わり合うことは大切で、そのような機会をつくることを行政にお願いしたい。【畑委員】
- ある町では、地元高校の協力により、高校ができること、地域ができることを話し合いながら取組を進めている。依頼の際「…できないので助けて」の気持ちを持つことが大切である。【杉谷委員】
- ある地域では、自治会などの活動団体が小中学校に声をかけ募集している。その場合、あまり教諭の負担にならないよう、活動団体が小中学生を見守っている。【鈴木委員】

社会教育主事（士）について

- 社会教育主事に具体的な取り組むべきことを示したい。また、社会教育主事同士の継続的なつながり強化のため、合宿研修を取り入れるなどの工夫が必要である。【畑委員】
- 社会教育主事や社会教育士を含めた人材育成が重要である。【奥村委員】

社会教育委員について

- 市町の社会教育委員の役割は引き続き重要となるが、あまり認知されていないのが現状である。それゆえ、社会教育委員に行政から具体的に取り組むべきことを示す必要がある。【奥村委員】
- 地域ばかりでなく、学校の教諭も社会教育委員を知らない方が一定数いる。学校の教諭に社会教育研修などの参加を促すため、学校長の理解が必要である。【鈴木委員、奥村委員】

7. 次回開催

日時：令和7年9月～10月頃

場所：未定